



9月20日(木)に、名向小、旭小の5年生が三浦グローバル・エコ・ビレッジにて、シーカヤックの体験を行いました。

雨がぽつぽつとふるような天気の中、開始されましたが、広場にあつまってきた名向

小と、旭小の子どもたちはやる気に満ち溢れている様子でした。救命胴衣の付け方や、パドルの持ち方、漕ぎ方、乗り方、海からの上がり方などインストラクターさんたちの説明を聞き、しっかり準備をしていました。

その後、カヤックを砂浜まで運び、改めてレクチャーを受け、海へ漕ぎ出しました。

海に出たばかりの時は慣れていない様子でしたが、しばらくするとぐんぐん進めるようになりました。中には立ち乗りができる子どもも。

体験終了後には救命胴衣を洗い、力を合わせて皆でフォローし合いながら、カヤックを元の場所へ戻していました。

全体的に満足した顔がたくさん見られました。



10月2日(火)、上宮田小学校の5年生で、「黄金の松輪サバ」の授業が行われました。

最初に、今までの授業で学んだことの感想を発表しました。江戸時代から続いている技術のすばらしさに触れる子どもたちが多かったです。

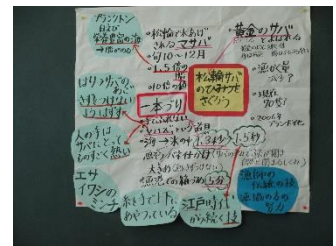
その後、今日のテーマである「一本釣りに挑戦し

よう」が始まりました。実際に使う「やはず」(サバに手を触れずに外す道具)を使って、サバの形をしたダミーを、針から外していきますが、これがむずかしい。ほとんどの子どもたちが苦戦していました。うまく外れると、歓声が上がっていました。「やはず」や針については、安全面を十分考慮していました。

最後に、子どもたちは体験の感想を発表しました。改めて、1.5秒でサバを外してしまう漁師さんの技術の凄さを再認識した児童が多かったようです。

先生からは、「次は漁師さんに会いに行こう」という呼びかけがあり、子どもたちが、次の授業への新たな意欲をもったところで、授業が終了しました。

子ども同士が、互いに自分の思いを語り、相手の意見にしっかりと耳を傾ける姿がたくさん見られた素敵な授業でした。



3月1日より先生方のPC上に、「海洋教育カリキュラム一覧」というリンクアイコンが存在しています。海洋教育カリキュラムを投稿、閲覧可能なイントラネットサイトです。すでに、22本の実践例がアップされています。皆さんの実践を共有できるように、積極的に投稿、閲覧してください。

(文責 事務局長 渋谷)

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所 854-9443 まで